

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271200620		
法人名	特定非営利活動法人ASA陽		
事業所名	グループホームけやき荘 B棟		
所在地	長崎県東彼杵郡川棚町小串郷1960-1		
自己評価作成日	令和 6 年 10 月 30 日	評価結果市町村受理日	令和7年2月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/42/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構
所在地	長崎県長崎市宝町5番5号HACビル内
訪問調査日	令和6年12月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念に基づいた支援を目標に掲げ、職員が地域との密接な関係を継続しながら利用者の方が在宅時と変わらず、施設においても家族、知人、地域との関係が途切れないように取り組んでいる。また、施設内の行事として誕生会や敬老会、花見、クリスマス会など季節感を味わえるように工夫している。敬老会では利用者の方の趣味の披露をしたりしている。またレクリエーションでは、琴やキーボード演奏や動画配信サイトを活用しながら昔話など利用者同士のコミュニケーションを図るきっかけを作り、楽しみを持ちながら生活して頂けるよう取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念“住みなれた地域の中で、ゆっくりのんびり過ごせるように、お手伝いをさせていただきます”を柱に支援に努めている。職員の言葉掛けは穏やかで優しく利用者が寂しくないように寄り添っている。介護計画を支援の基本と位置づけ、夜勤者が各利用者の介護計画から翌日のケース記録目標を定め、今日の支援に繋げていることは特筆すべきである。入浴介助は看護師と職員が2人で行い、専門的な視点で本人の状態を確認している。毎月の避難訓練は時間帯や災害想定を変え、利用者も一緒に身につくよう訓練している。職員意見の反映が多く、物品購入により業務負担を軽減し、利用者に接する時間を増やしている。利用者同士の仲はよく、リビングで談笑したり利用者が披露する踊りを盛り上がり、皆で歌を歌う様子があり、一つのコミュニティとなっている。穏やかに流れる時間の中で、理念が支援に結び付いていると感じられるホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づいたサービスが実践できているかスタッフ会議で話し合ったり、日常の取り組みの中で情報共有と意見交換を行い理念につなげていけるよう取り組んでいる。	設立時からの理念“住みなれた地域の中で、ゆつくりのんびり過ごせるように、お手伝いをさせていただきます”を柱に利用者支援に努めている。理念は、ホーム内に掲示し、新入職員には入職時に説明している。利用者が安心して穏やかに過ごせるよう、職員は常に気持ちに余裕を持って理念を実践に繋げている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナの影響のため、地域行事の中止や慰問などの受け入れができていなかった。コロナ緩和に伴い、職場体験学習の受け入れや、地域とのつながりを継続できるよう運営推進会議のなかで地域の様子などを伺い活用できるよう取り組んでいる。	自治会加入しており、回覧板を回す他、職員が公民館清掃に参加している。近隣福祉施設の消防訓練に利用者と一緒に参加しており、近隣住民とともに有事に協力し合う関係を築いている。また、中学生の職場体験実習を受け入れている他、保育園児からは手作りの贈り物が届いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に参加される総代、民生委員、ご家族、行政の方へ施設の状況や認知症の方への関わりや支援している内容などをお伝えし情報交換している。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍では、会議の内容、報告を書面で行い総代、民生委員、ご家族の意見など返信して頂いていた。現在は現状報告とサービスの様子などを報告し話し合いを行っている。意見や要望を聴きサービス向上に活かせるようにしている。	2ヶ月に一度、規定メンバーで対面会議を実施している。会議では、ホームの現状報告の他、職員研修や行事の予定を伝えており、職員曰く参加メンバーでの意見交換を運営に活かしているとのことである。ただし、議事録からは、意見要望、提案等が活かされた過程が確認できない。また、家族への周知はこれからである。	運営推進会議の意義を再確認し、会議内容を議事録に残し、運営に活かしていくことが望まれる。また、家族への周知を図る工夫に期待したい。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の案内、介護保険認定更新など提出の際、担当者へ事業所の実情とケアサービスの状況など伝達したり、協力関係が築けるよう取り組んでいる。	認定更新手続きや書類提出の際に、窓口に出向いている。台風接近時には避難のタイミングの連絡やマイナンバーカードの出張申請受付、ワクチン接種の案内がある。役場主催の高齢者施設合同運営推進会議に参加し、他事業所との意見交換や介護計画書について検討する等、担当課との連携を深めている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束会議を定期的に行い、職員全員が日々のケアの意見交換を行うとともに、日常的にケアサービスが身体拘束にあたらないケアであるか意識して支援に努めている。	指針を整備し、3ヶ月に一度身体拘束廃止委員会を開いており、委員会内での研修では、スピーチロック等の事例検討を行っている。気になる言葉遣いについては、都度職員同士で注意しあい、拘束をしないケアに取り組んでいる。帰宅願望のある利用者には、本人の話をよく聴き、行動を理解し、本人に寄り添う支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々の業務の中で虐待が見過ごされないよう職員同士が意識し注意を払いながら防止に努めている。 スタッフ会議でも不適切なケアはないか意見交換を行い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活支援事業、成年後見制度について行政のパンフレットなどを活用して会議での説明や呈示がある。現在、活用されている方はいないが、さらに制度を学ぶ機会を持ち、活用できるよう取り組む必要があると思う。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ホームの見学後、理念、方針など契約内容を十分な説明を行い、利用者家族の不安や疑問点を尋ね、理解と納得を図り契約の締結に努めている。改定等は詳細に説明し、理解と納得を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日ごろから利用者の意見や要望を聴き取り易い雰囲気づくりに努め、面会や電話対応時は利用者の生活の様子などをお伝えし、意見、要望を伺い運営に反映できるよう努めている。	家族の要望は面会時や電話が多く、話しやすい雰囲気心掛け、利用者の状況など伝え、質問や要望には都度、答えている。事業所便りは面会の方法や利用者の写真を載せ、毎月家族へ送付し好評を得ている。ただし、利用者本人の健康状態や暮らしの様子など情報を記した近況報告は半年毎の発行に留まっている。	利用者の健康状態や暮らしの様子は家族が知りたい情報であり、近況報告の発行頻度を増やし、更なる家族の安心と事業所への信頼に繋がるよう工夫に期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議等で意見や提案が自由に発言できる会議であり、日常での気付き等も伝達し話し合いの場がある。	職員は、月2回の職員会議や業務の中で、要望や提案を出している。勤務時間の希望に沿った雇用形態や希望休や急用時に対応している、職員の提案で支援に注力するために、掃除ロボットや食洗器、衣類乾燥機を導入する等、職員意見の反映は多い。気になる職員は個別に話を聞くなど管理者は働きやすい職場作りに取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個別に面談が行われ各自が向上心をもって働けるよう職場環境や条件が整備されている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人に応じた研修を受ける機会がある。また、資格取得に向けての情報提供がありスキルアップが図りやすい。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	川棚、波佐見グループホーム協議会が定期的に開催され、管理者やケアマネが参加し職員に向けての交流会や研修会が実施されている。同業者との情報交換などでサービス向上への取り組みがある。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の面談で在宅での生活の様子や入院状況の把握に努め、本人の困りごと、要望などゆっくりと聞き取りができるように工夫し関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	在宅での家族の不安やご苦労などこれまでの様子を聴き、家族の不安や要望など聴き取れるような関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が現在何を不安に感じ、困っているか、必要としているかを見極め支援に努め状況に応じた柔軟な対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者のこれまでの生活や価値観を尊重し、各々の経験を伺い一緒に共有できる環境づくりに努めている。		
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	安心した生活が送れるよう家族へ近況報告をし、家族とのつながりを大切に考え、家族の意向をお聞きしたり協力を得ながらともに支えあう関係が築けるようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ拡大で、面会や外出の制限があった時期は電話(オンライン)や、窓越しで顔を見て頂く時期もあった。毎月のお便りや写真付きの年賀状を送付したり、近況をお伝えするように努めた。現在は、本人や家族の希望で外出・外食など行えている。	面会は場所等に制限を設けており、遠方の家族にはLINE面会を案内している。家族の協力を得て、告別式や結婚式への列席、自宅帰宅や外食等がある。職員は生活歴や在宅時の過ごし方を把握し、フラダンス、裁縫、そろばん等の趣味や特技の継続、仲良しの利用者同士がユニット間を行来するよう馴染みの関係継続を支援している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず 利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努 めている	利用者同士の関係が円滑になるよう職員が 支援に努めたり、個別に話を聴き相談に乗 るなどの支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性 を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過を フォローし、相談や支援に努めている	医療機関への入院やリハビリ施設への転院 後も家族へ経過を伺ったり、必要時は相談 や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努 めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中から、意向や要望を汲み 取り支援に努めている。表出しが難しい方 は言葉や表情から本人の気持ちを推察し たり、本人に分かりやすい選択を工夫して思 いや意向を把握することに努めている。	朝食は本人の起床に合わせ、居室で過ごすことも 自由である。職員は、日常の場面で利用者と会 話し、思いを聞き取っており、難聴の利用者は ホワイトボードで筆談や口の動き、ジェスチャー でコミュニケーションを取っている。聞き取った 思いや新しい情報は口頭やケース記録へ記入し共 有し、また、会議で話し合いケアプランへ繋げ ている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、こ れまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から生活歴や暮らし方、サービ ス利用状況の把握と、不安や困りごとなどを 聴き安心して生活が送れるようこれまでの 暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等 の現状の把握に努めている	利用者ひとりひとりの一日の流れを把握し て有する能力が継続出来ているか、利用者 の言葉や小さな動作の変化に気付けるよう 現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方につい て、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞ れの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計 画を作成している	本人や家族の思いや意向を聴き職員全員 でアセスメント、モニタリングを行い現状 の把握を行い介護計画に反映できるよう作 成している。	入居時に暫定プランを立て、1、2ヶ月後に本 プランを作成している。夜勤者がその日の ケース記録内容から翌日の各利用者の一日の 目標を定め、それを基に支援している。職員 会議での意見や毎日チェックするケアプラン 評価表を基に3ヶ月毎にモニタリングを行 い、本人・家族の意向を聞き、ケアマネ ジャーが作成し、同意を得て実行している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別 記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践 や介護計画の見直しに活かしている	個別に健康チェック、食事、排泄など細かく 記録し、本人の言動やエピソードなど記録と 共有を行っている。実践状況を把握し、話 合って計画の見直しに活かしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて通院や、送迎の支援を行っている。冠婚葬祭や急な面会、外出など本人や家族の要望に合わせた柔軟な対応を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事の廃止や中止、慰問などの外部との制限もあり出来ていなかった。だが推進会議に地域の方(総代等)が参加できるようになり情報の発信や共有ができるようになってきているため出来るだけ地域資源の協働を行い支援していきたい。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を継続して受診できるよう支援している。家族が希望される医療機関も同様に支援している。家族が同伴される時は健康状況を詳細に伝達している。	本人・家族の意向に沿い、これまでのかかりつけ医を継続している。受診には看護師や施設長が同行しており、家族が付き添う場合もある。受診内容や薬の変更等、双方で共有している。緊急時は日中は施設長が状況に応じて指示しており、夜間は119番対応と定め、利用者が適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日頃の状態の記録、報告や相談を行い、指示を得ながら健康管理を行っている。必要時は受診し支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は病院関係者と情報交換を行い、退院に向けての相談など連携を図っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けた方針は、契約時に説明、納得、理解をされている。状態の変化に伴い、本人、家族の意向を再度話し合いを行いホームで対応できる最大のケアについて説明を行い支援している。	重度化した場合と終末期介護に関する指針を作成しており、方針については状態に変化が見られた早い段階で家族に説明し、意向を確認して同意を得ている。ホームでは看取り支援に取り組んでおり、本人の状態の段階に応じて医師と家族と話し合い、安心して最期を迎えられるよう支援している。看取り後にはグリーフケアを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力を得て、AEDの使用方法や蘇生術など学ぶ機会があった。 マニュアル等で周知を図っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている。	防災訓練は消防署の協力を得て実施している。(コロナで地域の方の参加はなかった) 毎月、利用者にも参加してもらい避難訓練を行っている。	毎月、各棟にて時間帯を変え、火災や地震等具体的に災害を想定し、利用者と一緒に避難訓練を行っている。消防署立会いの際には、夜間出火想定での訓練を行っており、夜間時の避難誘導のアドバイスを得ている。緊急連絡網には、近隣福祉施設等入っており、協力体制がある。ただし、非常時持ち出し品の整備はこれからである。	利用者の安心安全を守るホームとして、有事の際に備え、利用者情報等非常時持ち出し品の整備が望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、能力を踏まえて、本人が支援を必要としているかさり気なく声を掛けながら本人の気持ちを優先に考え支援している。	個人情報の取り扱いや写真掲載は、同意の署名を得ている。職員は利用者を苗字にさん付けで呼びかけ、目上の人と敬い、居室へ入るときはノック、声掛けしている。排泄介助はさりげなく羞恥心に配慮した支援を心掛けている。ただし、居室のドアには透明の小窓があり、職員は安否確認に利用している。	プライバシーや人権尊重の観点から、小窓の利用ではなく、他の安否確認方法を検討することが待たれる。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者に合わせて声を掛け、自己決定できるように働きかけ、難聴や意思表示がわかりづらい方には筆談や表情などで汲み取れるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとりひとりのペースに合わせた生活の支援を行い、個別に希望や要望を聴き支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個性を大切に、本人の好む服装や身だしなみ、おしゃれができるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭き、下膳などは利用者が行っている。 手作りおやつでは職員と一緒に作業に参加してもらっている。 利用者によっては、食材の下ごしらえに参加して頂いている。	献立は職員が輪番制で4週分作成し、食材は地域の商店から取り寄せ、当番の職員が調理している。アレルギーや嗜好に対応し、食べやすい形状で提供している。利用者は野菜の皮むきや後片付けを手伝っている。季節の行事食や庭で弁当を食べたり、利用者も一緒におやつ作りを楽しんでいる。また、家族と外食する利用者もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を記録し、体重測定 of 定期測定等で栄養状態の観察を行っている。摂取量の少ない方には、栄養補助食等、医師や訪問看護師へ報告し家族の協力を得ながら支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	誤嚥性肺炎の予防の含め、毎食後、口腔ケアを実施している。利用者によっては職員が磨きなおしを支援している。口腔内の異常があれば、家族と相談しながら歯科受診をしている。口腔体操の実施。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自尊心に配慮し、排泄のパターンを見ながらトイレの声掛けをし、自立した排泄の支援に努めている。 身体機能に応じた支援を行っている。	職員は排泄チェック表を付け、排泄リズムを共有し、声掛け、誘導など排泄支援を行っている。日中はトイレでの座位排泄を基本とし、おむつ使用者は定期的に交換し、夜間使用のポータブルトイレは翌朝片付けている。利用者の排泄状況に合ったパッド類や支援方法は気づいた都度検討し、使用枚数の減少に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材、乳製品などをメニューに取り入れている。腸の働きを良くするために、廊下歩行など適度な運動を実施している。便秘時は処方された緩和剤の服用で調整している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	健康チェックを行い、本人の希望を聴き入浴してもらっている。湯船につかる方、シャワーを好まれる方等、各々で支援している。体調に応じて、清拭、足浴、ドライシャンプー等、個々に添った支援をしている。	入浴は週2回を基本としており、体調や気分で入れない時は無理強いせず、清拭やドライシャンプーで清潔を保持している。車椅子の利用者も2人介助で浴槽に浸っている。同性介助に対応しており、会話したり、歌ったり楽しんでいる。また、入浴時は毎回、看護師が状態観察し、異常の早期発見に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はレクリエーションや作業などで適度に活動の場を設け、夕食後はゆったりと穏やかな時間が過ごせるよう工夫して、就寝に向けたリズムがとれるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の内容が把握できるよう説明書をファイルしている。処方変更があった時は、申し送り受診内容を確認して服薬準備を行っている。 与薬時は、飲み込まれるまで必ず見守りを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者各々の楽しみや得意なことなどを把握し、達成感や充実した時間を味わえるような場面づくりを工夫している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナの影響で外出の頻度が減り、ドライブなど日常的にできていない。利用者によっては、家族と月に1回外出されたり、自宅での食事、墓参り、買い物などに出かけられていた。日常的には、外庭に出て外気浴や散歩などで季節感を感じられる。	5類移行後もコロナの感染リスクを避ける方針で、積極的な外出支援に取り組んではないものの、初詣、花見や案山子見物、足湯やくじゃく園ドライブは、車椅子の利用者も一緒に出掛けている。また、敷地内での散歩や外気浴は頻繁に行い、気分転換になっている。家族の協力で個別に外出し、外食や買い物を楽しんでいる利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	コロナ以降に買い物の機会はなかった。本人の希望の品を預かり金で購入し支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者によっては、はがきやお手紙が届いたり、携帯電話を持っておられる方は、毎日家族と電話されている。年賀状は写真入りで家族へ送っていた。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が居心地の良い場所を選択され過ぎられている。季節毎に貼り絵の作品や写真なども掲示している。季節の花を食卓のテーブル、洗面所、居室などに配置して和みの空間作りをしている。	リビングでは、レクリエーションで歌を歌い、フラダンスを披露したり、ぬり絵や新聞折りをしたり、ソファでうたた寝をする様子が窺える。採光が良く、窓からの日差しをカーテンで調整する利用者もいる。玄関には季節の花や飾りつけを施し、面会や会議ができるスペースを設けている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者が集う場所があったり、ゆっくりと一人で新聞や書物を読んで過ごせる場所など、利用者に合わせた居場所の工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れたタンスや椅子、テレビ、ラジオなど、本人が使いやすいように配置している。衣類整理は、利用者と一緒に行い本人が居心地よく過ごせるよう支援している。	持ち込み品に制限はなく、筆筒やテレビ、カセットデッキ、CD、愛用の化粧品や衣装等、本人の動線に合わせて配している。時計の位置や常時使う物の配置等、本人の片付け方や使い方を尊重し、その人らしく暮らせるよう支援している。職員が清掃、換気し、居心地のよい居室となるよう努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの配置や案内板の掲示で場所を分かりやすくし、日時が分かるようにカレンダーや時計を見やすい場所に設置している。安全に配慮し、自立した生活ができる環境を作っている。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271200620		
法人名	特定非営利活動法人ASA陽		
事業所名	グループホームけやき荘 A棟		
所在地	長崎県東彼杵郡川棚町小串郷1960-1		
自己評価作成日	令和6年10月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/42/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構
所在地	長崎県長崎市宝町5番5号HACビル内
訪問調査日	令和 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者一人一人を尊重した暮らしができるように生活歴の把握、思いや意向の把握に努め一人一人がゆっくりのんびり過ごしていただくを理念に、常に利用者様を主としたケアに取り組んでいます。家庭的な雰囲気職員一人一人が利用者様と生活を共にしていることを意識し、ゆっくりコミュニケーションを取り居心地よい生活が送れるよう努めています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念に常に共有確認できるように提示し実践している		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナも徐々に緩和され地域とのつながりも徐々に交流があっている(中学校交流実習)		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方からの認知種の悩みや質問、意見等支援している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議に、行政、地域の方、利用者家族に参加して頂き、現状や取り組み等を報告し意見を頂きサービス向上に活かしている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議に参加して頂き定期的に連絡を取っている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束会議や毎月のスタッフ会議で意見を出し話し合い、身体拘束をしないケアに常に取り組んでいる		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に職員で心掛け、スタッフ会議等で虐待にならないように意見を出し合い見過ごされることがないように防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	行政とのつながりを持ち、必要時には話し合いが持てるよう支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時利用者様と家族に見学していただき、充分説明し話し合い理解納得していただいている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	書面にて家族からの意見や要望の機会を設け、運営に反映させている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議等で意見や提案を聞く機会を設け、直接電話等でも意見や提案を聞く機会も設けている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の希望を聞き入れ、向上心を持って働けるよう努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会に参加し職員の質の向上に努めている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や研修会等に参加しサービスの質の向上に努めている		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時安心して生活が送れるよう本人、家族の方に見学していただき要望に応じ信頼関係に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人家族の意見を十分に聞き、要望に対応しながら入所後も家族に様子を報告し信頼関係に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の状況を見極め、何が必要か本人家族に相談しながらサービスに対応するよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の個性や生活歴を大切にし、できることは本人にしていいただきできないことはサポートしながら、支えあう関係に努めている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的に家族に近況報告を行い、衣替え等は家族が着替え、布団等を持参され本人とのかかわりを築いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの訪問美容に来ていただき、馴染みの人や場所が途切れないよう支援に努めている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係が円滑になるよう、一人一人孤立しないよう日常会話に入りかわりができるよう支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後必要に応じて、受け入れ先や本人家族から相談等あれば支援に努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望や思いを傾聴し意向に沿えるよう努めている、困難な場合は家族への情報提供に努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人のアセスメント、生活歴を理解して少しでも本人の馴染みの暮らしに近づけるよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の過ごし方で、できること、できないことを見極め支援に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーを中心に、スタッフ会議で現状報告、意見を出し合い介護計画を作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に生活、気づきノートに実践や気づき等を記録し、情報を共有し見直しに生かしている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況、家族の状況に合った柔軟な支援サービスに取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	推進委員会に地域の方も参加している、現状報告を行い意見をいただいている、消防署も避難、誘導訓練の指導に来ていただいている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族やかかりつけ医と常に連携を取り、本人家族の希望を尊重し、受診または往診を受けられるよう支援している		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が日常の健康管理医療支援を行っている、少しの変化でも看護師に報告し適切な看護を受けられるよう支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関や家族と情報交換し、相談にも努めている本人家族の意向を大切に支援している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階から一番いいと思われる方法を、家族や医療機関と相談し支援に取り組んでいる		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時には管理者や上司に報告し指示を仰いでいる		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている。	月1回避難訓練を実施している、消防署立ち合い指導訓練も行っている設備点検も行っている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使いが日常化しないよう、スタッフ会議等で振り返り意識づけしている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を感じ取り、本人に声掛け自己決定し表現できるよう働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の状態に合わせ、考えや思いを表現できるよう声掛け見極め支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の整容、本人が好む服を選んでいただくよう支援している定期的な訪問美容も支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は本人に合わせた形態で提供し、テーブルを拭いていただいたり食後の食器を集めていただいたりできり支援につなげている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を毎食チェックし記録している栄養も肉、魚野菜等バランスを考えて支援している		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後義歯洗浄やうがい等一人一人の状態に合わせ声掛け介助し、口腔内の清潔に努めている		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	プライドが傷つかないようひとり一人の排泄パターンを把握し、なるべく便器に座って排泄できるよう支援している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分をできるだけ摂取していただくよう声掛けしている、個々の排便状況を把握し看護師と相談しながら便のコントロールに努めている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人一人の健康状態を把握し、拒否する人には声掛けタイミングを計り個々に沿った支援をしている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時の状況に応じ空調を調節して安眠できるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の体調変化に早目に気づき、変化があれば看護師、かかりつけ医に相談確認支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人に合う楽しみごと、塗絵や、パズル、歌など提供し洗濯物も進んでたたんでいただいている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望を聞き、時々ドライブに出かけているお花見や散歩など本人の状態に合わせて支援している		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人希望があれば家族と相談して支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人から希望があれば電話をして対応している、その時の状況を見て家族からの電話も対応している、家族からの手紙は喜ばれる		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を生けたり、壁飾りをつけたりして季節感を取り入れている、照明や光、音、温度等居心地よく過ごせるよう配慮している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思い、一人一人、が共用空間のソファや食卓、好きな場所で過ごせるようその時の状況に応じて支援している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と相談し使い慣れたテレビ、テーブル、たんす等を持ち込んで居心地よく過ごせるよう支援している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室等にわかりやすいように大きな文字で表示し、一人一人に声掛けしながら自立した生活が送れるよう支援している		